

# かつての自宅アジトに

## 1か月前から準備か

### 大阪放火1週間

大阪市北区曾根崎新地のクリニックで起きた放火殺人事件は、大阪府警の捜査で、谷本盛雄容疑者(61)が火を放った状況が明らかになった。25人の犠牲者が出た事件は24日で発生から1週間となる。動機は謎のままだが、谷本容疑者が1か月前ほど前から生活していた自宅からは、大量殺人の準備をひそかに進めていた様子が見えてくる。

自宅は大阪市西淀川区にある3階建てで、狭い路地の一角に立つ。事件後、捜査員が屋内を調べたところ、2階の窓と壁の隙間に、通気を防ごうとしたのか補修材がぎっしりと塗られていた。

府警が着目するのは、事件現場との関連性だ。クリニック内にある消火栓の扉も同一とみられる補修材で固定され、開きにくいようになっている。消火を遅らせる目的だったとみられる。

住宅では、事件が起きる約30分前、放火が疑われるボヤが起きていた。室内には新聞紙などが広げられており、2019年7月に36人が亡くなった京都アニメーション放火事件の記事があった。「放火」「殺人」などと書かれたメモも見つかった。

1987年	大阪市西淀川区の新築住宅で妻子と生活
2008~10年	離婚し、独り暮らし。仕事を辞める
11年	長男を刃物で襲う
	服役を終えて出所後、現場のクリニックに通院
21年11月頃	西淀川区の住宅に戻る
11月末	ガソリンを購入
12月17日	自身の自宅から出火
午前9時50分頃	
午前10時15分頃	クリニックで放火殺人事件が発生

#### 谷本容疑者を巡る経緯

「腕のいい仕事一筋の職人」(当時の上司)として、周囲から高い評価を得ていた。

しかし、酔っ払って声を荒らげることが増え、2008年に離婚。別の住宅で独り暮らしを始め、無断欠勤の末に仕事を辞め、競馬などのギャンブルに金をつぎ込むようになった。そして11年、長男を刃物

で襲って大けがを負わせ、懲役4年の実刑判決を受けた。判決は「孤独に耐えかね、自殺を考えるようになったが踏み切りがつかず、無理心中をしようとした」と指摘した。

生活。数年前から、クリニックに通院するようになり、今年11月頃、西淀川区の住宅に戻ったという。家財道具は敷き布団ぐら

知らなかったという。谷本容疑者は心肺停止状態で救急搬送されたが、その後蘇生し、意識不明の状態が続いている。大阪府警は今後、容体が回復すれば、殺人や現住建物等放火の容疑で逮捕する方針だとい

## 20秒でCOO充滿

### 想定実験

事件当時の状況について、解析会社が想定実験をした結果、一酸化炭素(CO)の濃度が高い煙が、出火から約20秒で室内に充滿したことがわかった。この

に陥っていた可能性がある。読売新聞が、気体の広がりを3DCG(3次元コンピュータグラフィックス)で解析する「環境シミュレーション」(東京)

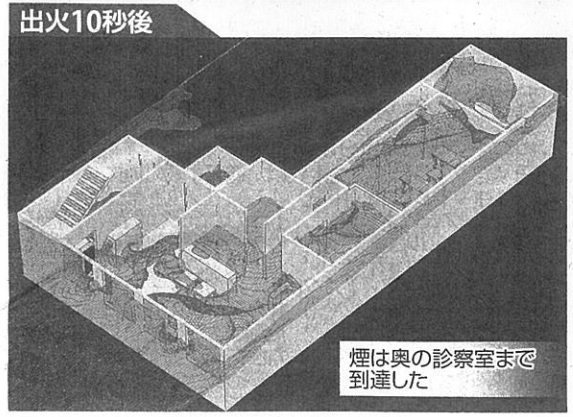
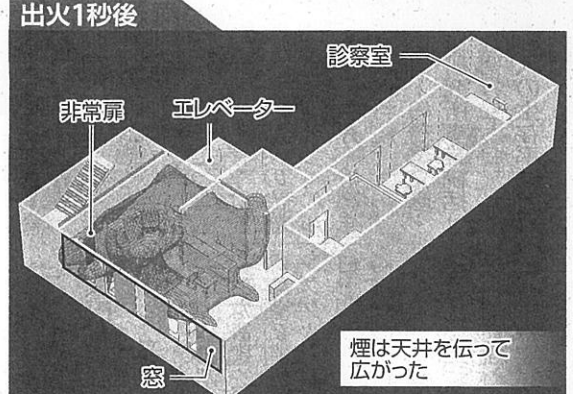
への取材や、通行人らが撮影した現場の動画などから室内の状況を再現し、CO濃度が5000ppm(1ppm=0.0001%)を超える煙の広がりを調べた。

数分後には、現場にいた被害者26人全員が意識障害

に依頼して実施。大阪府警

この濃度の煙を吸うと1〜2分で意識障害が起

#### 高濃度の一酸化炭素の拡散を調べた想定実験



大阪府警は23日、新たに男性2人の身元を発表した。これで死亡した25人全員の身元が判明した。

25人は男性15人、女性10人。年代別では、20歳代と30歳代がそれぞれ7人で、40歳代5人、50歳代6人だった。クリニック関係者は、西沢弘太郎院長(49)を含めて6人が犠牲になった。他に女性1人が重篤な状態で治療を受けている。

23日に身元が明らかになったのは次の方々。

▽池田拓民さん(30)(京都市山科区)▽仁川雅月さん(46)(大阪市東住吉区)

